

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アンの家神戸		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 6日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月9 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月18 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	午前中から開所しているため、長時間安心して過ごせる居場所	将来の自立に向け、自分のことは自分で決められるよう、自分で活動内容を選択する	今後も自分で選択できる機会を増やす
2	学習支援	元教員の指導員もあり、小学生から高校生までそれぞれのレベルに合わせた学習支援を行っている	今後も一人一人に合わせた教材を精選し、各自に必要な学習支援を行う
3	中高生中心のサービスであるため、落ち着いた環境で活動できる	将来の自立に必要なソーシャルスキルを身に付ける	これからも利用者のニーズに合った活動を提供する

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングを実施していない	実施できる職員がいない	保護者からの要望があれば、外部の施設を紹介するなどしたい
2	親の会を実施していない	これまで要望がなかったため、検討していなかった	保護者からの要望があれば、柔軟に対応したい
3	コロナ禍以降イベントの実施ができていない	外出の希望者が少ない(教室での活動を希望する人が多い)	利用者から意見を聞きながら、年に2回ほど実施できたらと考えている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス アンの家神戸

公表日 2025年1月18日

利用児童数 28名

回収数 18名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	1	人数によっては少し狭いかも	人数によっては別室に移動している
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	0	1	・階段があるため、下肢に障害のある人には少し大変かも ・南向きの窓があるのに暗いのが少し残念(特に冬場)	・今後階段が使えない方の利用希望があった場合は、1階の教室の使用を検討する ・まぶしいのでブラインドを下ろしていることが多いので、状況によってはブラインドを開ける
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	4	0	2	・校外学習や軽めの登山があれば嬉しい ・慌てず待ってくれることに感謝している	コロナ禍以降イベントの実施ができていないが、利用者様の意見を聞きながら検討したい
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	2	13		今後地域の行事に参加することも検討する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	2	9		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	いつもメールで詳しく様子を知らせてもらえてありがたい	今後も保護者との連絡を密にする
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	3	13		保護者からの要望があれば、家族で参加できるイベントの検討をする
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	1	4		どの曜日の人も避難訓練に参加できるようにする
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	合うところのほぼない中、安心しているのが本人の様子から伝わるのが一番嬉しい	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス アンの家神戸				公表日	2025 年 1 月 18 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	状況に応じて別室を利用し、活動スペースを分ける	今後も状況に応じて対応する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	法令を遵守している	今後も法令を遵守する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	室内はバリアフリーであり、活動に集中できる配置を心掛けている	利用しやすいレイアウトを心掛ける	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃・消毒をしている。また共通で使用するPCも使用する度に消毒している	今後も安心・安全に過ごせる空間づくりに努める	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	状況に応じて、別室利用やパーティションで仕切られたスペースの利用を提案している	今後も状況に応じて対応する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎朝全職員参加のミーティングを行い、情報を共有している	今後も全職員がPDCAサイクルに参加できるように努める	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	今回の保護者向け評価の結果を職員間で共有している	今後も保護者様からのご意見を真摯に受け止め、業務改善につなげる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	気付いたことがあればその都度言ってもらっている	今後も一人一人が意見を出し、よりよい支援を目指す	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	現時点では第三者による外部評価は行っていない	今後状況に応じて検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	OJTだけでなく、外部の研修にも参加している	今後も研修や勉強会に参加し、資質向上に努める	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPで支援プログラムを公表している	職員間で話し合い、利用者様の状況やニーズに応じたプログラムを作成しました	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者と面談を行い、今の利用者本人の課題やニーズを個別支援計画に反映している。	今後も適切にアセスメントを行う	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画を作成の際は、全職員が計画を確認し意見できるようにしている	今後も全職員が参加し、チームとして作成する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画はいつでも確認できるよう、ファイルに保存している	今後も職員間で支援計画を共有し、支援計画に基づいた支援を行う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	特別なツールは利用していないが、本人の表情、発言など利用時の様子を記録している。	今後も日々の様子の記録に加え、機会があれば標準化されたツールも使用したい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に沿った内容で支援計画を作成している	今後も適切にアセスメントを行い、一人一人に必要な支援計画を作成・実施する。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	それぞれが自分の得意なことを生かし、活動プログラムを決めている。	今後もチームとして活動プログラムの内容を考え、実施していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用者の希望を聞きながら活動プログラムを決定している	今後も利用者一人一人のニーズに合わせた活動プログラムを提供する	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動に参加できる人には、個人での活動と集団での活動をバランスよく取り入れるようにしている。	今後も一人一人の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせる	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝全職員参加のミーティングを行い、情報を共有している	今後も全職員がミーティングに参加し、チームとして連携し支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	利用者の活動内容を記録しているため、終業時間の早い職員は翌日確認するようにしている。	今後も全職員で情報を共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	利用者ごとに日々の活動内容や活動時の様子を記録しており、次回の活動に反映させている	今後も記録を徹底し、日々の支援に反映させる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとにモニタリング面談を行い、それに基づいて支援計画の見直しをしている	今後も定期的なモニタリングを行う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	「4つの基本活動」が偏らないように組み合わせるようにしている	今後も「4つの基本活動」を組み合わせ、活動する
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	将来の自立に向け、日頃から選択の機会を設け、自己決定力を培うことを目指している。	今後も自分の活動は自分で決められるようサポートする
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	支援会議やカンファレンスには基本的には児童発達支援管理責任者が参加している
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	協力医療機関は近隣のアンの家をよく知る医院のため、連携し支援を行っている	今後も各関係機関と連携し支援を行う
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校の行事予定は職員間で共有している	今後も学校との情報共有を適切に行う
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	これまでの利用者は全員小学校高学年以上のため、就学前の利用施設と連携したことはない	今後小学校低学年の方の利用があった場合は、適切に連携する
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業後も福祉サービスを利用される方は、情報共有をしている	今後もスムーズな移行のため、適切に情報共有を行う
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	外部の研修にも積極的に参加している	今後も関係機関と適切に連携し、研修にも積極的に参加する
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	児童クラブや児童館との交流はないが、連携する通信制高校の活動に参加する機会を設けている	まだそこまで通信制高校の活動に参加できていないため、今後は参加の機会を増やしていきたい
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	地域の自立支援協議会に参加している	今後も会議に積極的に参加していく
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	毎回利用時には報告メールで活動内容や活動時の様子について知らせている。	今後も保護者との連絡を密にする
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	現時点ではペアレント・トレーニングや家族が参加する研修を提供したことはない	今後要望があれば検討したい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に必ず書類を提示し説明している	今後も丁寧で分かりやすい説明に努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	支援計画を作成する前は必ずモニタリングを行い、そこで聞いたことを反映させている	今後も利用者本人や保護者の意向を反映させる
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画を作成した際は、必ず保護者の同意を得ている	今後も支援計画に保護者からの同意を必ず得る。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者から相談があった際には、面談やメールでその都度応じている	今後も保護者からの相談にはその都度対応する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	父母の会や保護者会などは設けていない	今後保護者からのニーズがあれば検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合は適切に対応する	今後苦情があった場合は全職員で共有し、適切に対応する

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	HPやブログで情報発信をしている	ブログの更新が滞りがちなので、定期的な更新を心掛ける。それ以外のSNSは状況に応じて使用を検討する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の取り扱いに関し、書面を提示して説明している	今後も職員一人一人が守秘義務について理解し、個人情報の取り扱いには十分配慮する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	場面緘黙の利用者にはカードやホワイトボードを使用している	一人一人の状況に応じて、意思疎通の方法を考えていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	商業地であることもあり、事業所に地域の住民を招待したことはない	地域の人も参加できるような行事を検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	全てのマニュアルを作成している	作成したマニュアルをHPで公開するなどして、広く周知する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPのを作成し、定期的に避難訓練を行っている	いざという時に備え、必要な訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に服薬や病歴について確認している	利用者の状態を把握し、安全に活動できるように努める
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーについては契約時に確認しているが、食事やおやつ提供は行っていない	アレルギーについて、全職員間で共有する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、利用者の安全に十分留意している	安全計画に基づき、必要な訓練や研修を行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	緊急連絡先として保護者の連絡先を登録している	いざという時にすぐ保護者に連絡できるよう、日頃から訓練しておく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットに該当する事例が発生した場合は、速やかに報告書を作成し、再発防止に努める	職員間の声掛け、ダブルチェックを習慣化し、事故の発生防止に努めるとともに、事故が起こった場合は、速やかに対応する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	社内に虐待防止委員会を設置し、定期的な研修を行う	定期的な研修を通し、虐待防止を徹底する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	いかなる場合も身体拘束は行わない。	今後も身体拘束は行わない	